



### 火災時の措置

消火方法：

(1) 周辺火災の場合

速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可能な場合は容器及び周囲に散水し消火する。

(2) 着火した場合

火元への燃料源を断ち、消火剤を使用して消火する。

スプレー水で火災に曝露されている表面を冷やす。

消火作業は風上から行い、消火を行う人は場合によって呼吸保護具を着用する。

消火剤：噴霧水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素

---

### 漏出時の措置

(1) 保護具を着用し、風上から作業する。

(2) 付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

(3) 下水等に入り込まないように注意する。

(4) 漏れた液は砂などで囲みビニールシート等で覆い、蒸気の発生を抑えながら回収する。

---

### 取扱い及び保管上の注意

取扱い：(1) できるだけ吸入、皮膚接触を防ぎ、必要に応じ適切な保護具を着用し、風上から作業する。

(2) 蒸気の発散をできるだけ抑える。

(3) 取り扱い後は手洗いを十分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。

(4) 酸化剤、還元剤、アミン、メルカプタンとの接触をさける。

(5) 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発散させない。

保管：(1) 密封して、冷暗所に保管する。

(2) 貯蔵場所では常に整理整頓及び清掃に努め、みだりに不必要な可燃物を放置しないこと。

(3) 収納した容器を貯蔵するときは地震等で容器が容易に転落、転倒し又は他の落下物により損傷を受けないようにする。

---

### 暴露防止措置

管理濃度：なし

許容濃度：日本産業衛生学会勧告値 (2002年版)

時間荷重平均：未設定

ACGIH(2002年)勧告値

時間加重平均(TWA)：未設定

設備対策：局所排気装置を設ける。

保護具：保護衣、保護眼鏡、保護手袋 等

その他の衛生上の予防措置

(1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。

(2) 健康診断を定期的実施する。

(3) 安全衛生教育を実施する。

---

### 物理 / 化学的性質

外観：透明な液体

比重：1.02 (25 )

沸点：データなし

融点：- 2

蒸気圧： $1.33 \times 10^{-3}$  Pa ( 0.1 mmHg )

蒸気比重：空気より重い



は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めていく。

---

主な適用法規

消防法

法別表 : 危険物 第4類 第3石油類 (水溶性) (指定数量 4,000L)

---

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、通常の手配を対象としたものであって、特別な手配をする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、手配には細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願い申し上げます。

---

参考文献

- 1) ISP/ Creanova Inc. MATERIAL SAFETY DATA SHEET